

## 様々な変り弾

より効果的な弾薬を求めて、砲術学校では標準的な火縄銃の弾のバリエーションが試された。棘（とげ）をつけて殺傷力を高めたものや、弾を連結して一緒に発射するものなど、さまざまな工夫が凝らされた。しかし、これらの弾は製造が難しく、単純な鉛の球よりわずかに効果があったに過ぎない。19世紀に火縄銃が近代的な銃に取って代わられるまで、基本的な球形の弾がスタンダードであった。このパネルでは、種子島流の火縄銃の教本に描かれている、さまざまな種類の珍しい弾薬を紹介している。展示ケースには、さまざまな形や大きさの火縄銃の弾や、陶製の手榴弾（後方にトゲのある弾）などが入っている。